



学校だより 真砂

新潟市立真砂小学校

5月号

令和4年5月27日 発行

■これからの児童の限りない成長の予感

教頭 風間 弘子



令和4年度がスタートして、2か月が終わろうとしています。ふと外に目を向けると、海岸の方にはハマナスやアキグミの花が咲き、また満開のニセアカシアの花からは、甘く心地よい香りが漂ってきます。真砂小学校の中庭では、水辺を楽しむ児童の様子が目に留まります。私が朝、音楽室で授業の準備をしているとトントンという音が何回も聞こえてきます。正体は、窓ガラスをくちばしてつついている雀でした。その姿は愛らしく、ここに居てよかったな、応援してもらっているのだなという気持ちになります。



朝顔の芽が出て喜んでいる1年生、畑の先生に指導をしていただきながら野菜を植えた2年生、校区内探検で学びを深める3年生、小針浜でのリサーチ活動に取り組む4年生、初めての委員会活動や運動会での係の仕事に一生懸命な5年生、小学校生活最後の運動会と修学旅行の学習に積極的な6年生、各学年ごとに、それぞれがんばっている様子が見られ、うれしい限りです。

児童がこのように学校で楽しく過ごすことができるのも、周りのサポートのおかげです。登下校を見守ってくださるセーフティスタッフの方々、児童の学びや活動を支えてくださる学習支援ボランティアの皆様、児童や学校のためにと支えてくださっているPTA役員の皆様、地域で児童の様子を見守ってくださっている自治会の皆様、コミュニティ協議会の皆様、学校運営協議会委員の皆様、本当にいろいろな方々のご協力のおかげで、真砂小学校の教育活動が成り立っています。

5月21日(土)に運動会がありました。ウイルス禍ですが、応援団が限られた時間の中で練習に専念し、各組をまとめあげている様子は、さすがでした。運動会を苦手としている児童も、自分なりに取り組んでいる姿が、感動的でした。そして、後片付けでは、おやじの会・保護者の皆様の率先した働きぶりに、感謝の言葉しかありません。

今後も、児童の限りない成長の様子に、ますます目が離せません。皆様、ぜひ、『真砂小のファン』として、継続した応援をよろしくお願いします。

